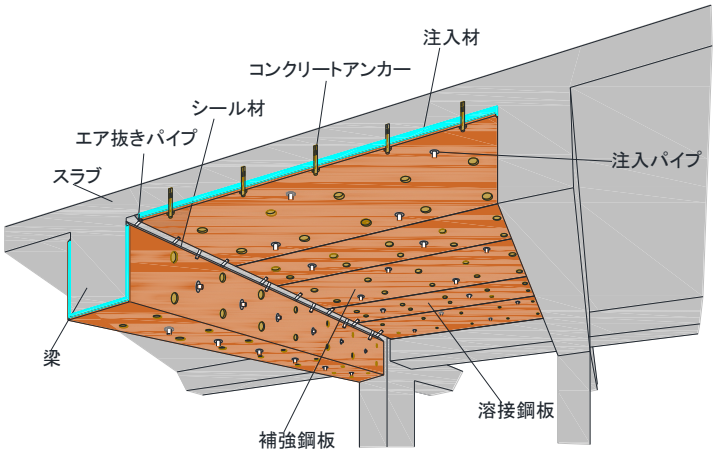
補修補強工法

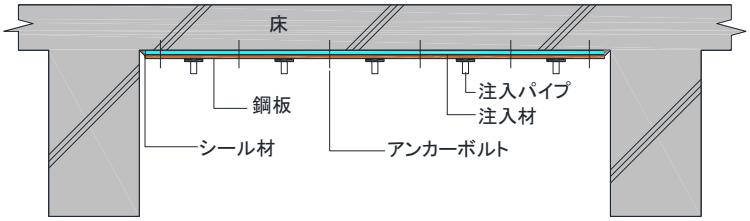
鋼板接着工法

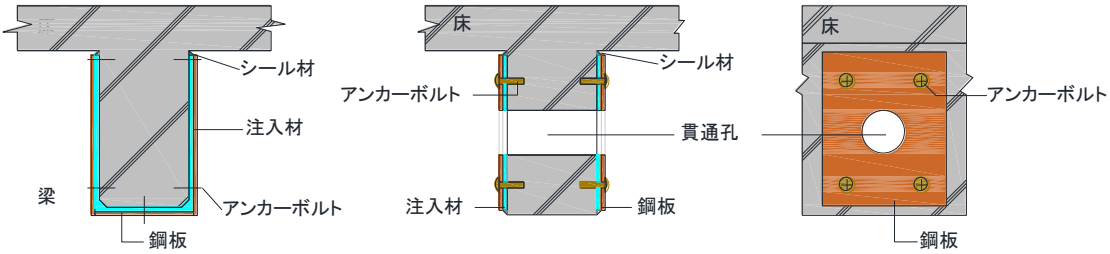
工法の概要

鋼板接着工法は、建築、土木構造物に鋼板をアンカーボルトで固定し、空隙にエポキシ樹脂を注入し、鋼板をコンクリートに接着する工法です。鋼板とコンクリート躯体の間にエポキシ樹脂を注入する事で一体化を図り、構造物の耐力および剛性が向上します。

主な特長







１．補強効果

・構造物の曲げ・せん断耐力、変形性能を向上させることができます。

・構造物の剛性が向上し、振動対策、車両等の繰り返し荷重による疲労劣化対策に有効です。

２．広範囲な適用対象

・補強対象建物は、鉄筋コンクリート(RC)造または鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)造です。

・柱(せん断補強)、梁(せん断補強、開口補強)、壁(開口補強)、スラブ(曲げ補強、開口補強)が補強対象です。

・橋脚・建築柱のせん断補強の場合、躯体と鋼板の間はエポキシ樹脂と無収縮モルタルのどちらでも対応が可能です。

施工方法

鋼板接着工法は、以下の施工フローで実施します。

1. 既存仕上げ撤去
既存仕上げ材･モルタル等を撤去。

→ 2. 下地処理
躯体を断面補修し養生

→ 3. 鋼板取付
鋼板を仮止めアンカーで取付

→ 4. シール、注入パイプ取付
既存躯体と鋼板との間隙部にパテ状エポキシ樹脂でシールし注入パイプ等を取付

→ 5. エポキシ樹脂注入
エポキシ樹脂を注入し硬化養生

→ 6. 後処理
樹脂硬化後、注入状態を確認
注入パイプ等を撤去

→ 7. 仕上げ

使用材料

- シール材　：　トーホーダイトS930 （パテ状エポキシ樹脂）
- 注入材　：　トーホーダイトCP300 （液状エポキシ樹脂）
- 断面補修材　：　イーグルクリートGL-4H または U-リペアライト（ポリマーセメントモルタル）

施工例

柱補強

梁補強･スラブ補強

梁貫通孔補強

株式会社東邦アーステック
建設事業本部
〒160-0022　東京都新宿区新宿 2 丁目 13-10 武蔵野ビル
TEL 03-5367-2661(代)　FAX 03-5367-2666
http://www.tohoearthtech.co.jp

大 阪　TEL 06-6886-8221(代)
FAX 06-6886-8228

MSA-QS-2108
MSA-ES-1188
MS CM024
ISO 9001, ISO 14001 認証取得
（耐震補強工事，構造補強工事）